

「地域サポート事業」

～事業開始より半年、課題克服への研修会～

3月ニュース

地域サポート事業が昨年10月にスタートして半年。事業に関心を持ち、アンケート（サポート作業一覧）に回答していただいた3百数十名の会員を対象にした初めての研修会が3月15日（火）午後、センターで開催され、113名が出席しました。

森澤弘理事長の挨拶の他、埼玉西協同病院の脳いきいきインストラクター、伊藤昌子さんに、「シルバー会員の就業と地域支援～あなたも脳トレでイキイキ元気～」のテーマで講義をしていただきました。

地域サポート事業は、住み慣れた地域や家で、安心して暮らせるための支え合いの仕事です。健康なシルバー会員なら誰でも地域のために役に立てる仕事です。

事業は昨年夏、地域ごとに説明会を開き、会員皆さんの意見を聞きながら始まり、この半年の実績からさまざまな課題が見えてきて、その課題を反映した「就業の手引き」を作成した塩原コーディネーターから説明後、意見交流しました。会場から就業後の料金の取り扱い等について意見が出されました。



森澤理事長



塩原コーディネーター



伊藤講師



「あなたも脳トレでイキイキ元気」講義風景



いのちの入り口、お口と健康「あいうべ体操」